

第4回真田地域協議会 会議録

日 時 平成19年1月16日(火) 午後7時から午後8時30分まで
会 場 真田地域自治センター3階 講堂
出席委員 飯島泰明委員、一本鎗武志委員、大久保秀則委員、大久保芳美委員
大熊邦子委員、桑田まなみ委員、小金敏展委員、坂口恒子委員
佐藤和雄委員、佐藤博委員、清水悦子委員、清水潤委員、花岡静枝委員
宮崎正三委員、宮下蘭子委員、山崎隆喜委員、山崎寿雄委員
欠席委員 今井良明委員、上原和彦委員、橋詰邦男委員
市側出席者 小市センター長、センター全課長
渡辺センター次長兼地域振興課長、塚田係長、宮島主任

1 開会 (佐藤副会長)

2 会長あいさつ (清水会長)

3 真田地域自治センター長あいさつ (小市センター長)

4 協議事項

(1) 第一次上田市総合計画「地域まちづくり方針」について

(会長)

お手元にあります資料(真田地域まちづくり方針-原々案)の説明を、事務局からお願いします。

(塚田係長)

「真田地域まちづくり方針-委員提出シート」は、年末年始のお忙しい時期に作成し、提出していただき誠にありがとうございました。

各委員からの多種多様のご意見の全てを盛り込むことはできませんが、多数の委員からのご意見を事務局で取りまとめさせていただき、基本となる新市建設計画に追加・加筆・修正したものを「真田地域まち方針-原々案」として今回お示ししました。

各委員におかれましては、本日が初見となります。この後にご検討いただく訳ですが、協議会のなかに限らず、持ち帰ってご覧いただくなかでもご意見等がありましたら、1月22日までに事務局までご連絡いただければと思います。

それでは、原々案の説明をさせていただきます。

～「真田地域まち方針-原々案」の説明～(塚田係長)

(会長)

説明のあったように皆さんからのご意見を事務局にまとめていただきましたのでこの原々案にご意見をお願いします。

まず、「1. 地域特性と発展の方向」についていかがでしょうか。

見ていただいたばかりで意見と言われても困ると思いますが。

「2. 真田地域まちづくり方針 (1)新市建設計画に基づく方針」については、い

かがでしょうか。

この中では、「 創意と工夫の地域づくりの推進」について、前回の協議会では多くの委員から、地域づくり委員会を存続するといったご意見が多かったので、「地域づくり委員会」というキーワードが含まれました。

(委員)

丸子地域(他地域)と比べると商業集積や工業面で劣っているので、真田地域は、観光と農業のまちと呼ばざるを得ないのか。

当地域は集客力を高めるような動きが産業振興で大切である。例えば、上田菅平インターが近くにあることを活かし、優良企業を誘致するといったことができるのではないか。

(委員)

内容を見るなかで、今後は自治会の活動が活発になってくることを考えると「地域づくり委員会」という文言が盛り込まれたことは大変良かった

その他の面に関しては、今日いただいたばかりなので、何とコメントしたらよいか分からない。後ほどじっくり読ませていただき、1月22日までに事務局へ連絡したいと思う。

(委員)

地域としての過疎化という問題が大事か。退職者のIターン・Uターンに対応する方針も盛り込んでいただきたい。

(委員)

総合計画であるからこのような文章になるかと思う。しかし、もう一步踏み込み、真田地域は今後どうなるのかといった、具体的な面が見えてこない。

(清水会長)

具体的な実施計画のような内容にまで踏み込んでしまうと、急速に変化する現代社会のなかで、行政が対応できなくなるのではないか。また、実施を目指す時の回り道になってしまうのではないか。

今回諮問されているのは、実施計画の前段としての総合計画であるから、理念と基本計画として、このような内容の原々案が作成されたと思う。

(委員)

このような計画を作成するうえで、どの程度具体的なことを入れて良いのかわからない。そこで、過去に議員を経験された委員もいらっしゃるので、お話をお聞きし、それをベースにして原々案について考えさせていただきたい。

(委員)

「2.真田地域まちづくり方針」には、具体的なことを書くべきある。原々案は、ある程度具体的に書かれていると思う。

「1.地域特性と発展の方向」は、真田地域のこれからの進むべき姿を打ち出さなければならない。自然に恵まれているまち、福祉が充実して子育てし易く女性にやさしいまち、こどもにも大人にもお年寄りにも良いまち。そんな地域を造っていくとする思想や思いを込める必要がある。

(委員)

前々から具体性ということをお場で言い続けてきた。この原々案は、真田地域に必要なことが全てまとめられていると思うが、もう少し具体的であっても良いと思う。議員時代は、実現の可能な具体性を重要視してきた。

(会長)

私は、純粋な民間企業出身ですが、このようなものを作るには、まず、具体的なことを決めて、それを実現するため、また、周りに理解してもらうために、このような文章をつくってきた。

最近ではISO14000のようにマニュアル作って品質管理などをする時代となった。これはアメリカの方式で、理念・基本計画をきめて、具体的な計画は具体的なことをやる部署に任せる。まさに総合計画と実施計画の関係で、総合計画を作り、実施計画は、別の人に任せるといったことになる。

(委員)

文章の後に、列記というか箇条書きするような標記方法にならないか。

(事務局)

言葉関係に関しては、全体の総合計画をまとめるにあたって、言い回し、標記方法は統一されると思われる。協議会として、そのような標記の方法がよろしければ、それで答申していただいて良いと思う。

(委員)

あくまでも地域の方針なのでこの文言で良い。実施計画のなかで具体的にビジョンを設けていけばよい。

(会長)

菅平とその他の地区、長・傍陽・本原を比較した時に、菅平の皆さんは、観光にしても農業にしてもこれを生業としている。その他の地域は、観光や農業を生業にしていることが少ない。私は、標記方法として地域を分けたほうが良いのかとも考えたが、実施計画のなかでこのことを考えれば良い理解している。

(委員)

2月5日に答申、1月22日までにこの内容に意見があったら連絡とのことですが、提出までの今後の日程を教えてください。

(事務局)

この原々案に対する、本日いただいたご意見と22日までに寄せられたご意見をまとめたものを原案とさせていただきます。出来上がり次第、各委員に事前送付させていただきます。30日の協議会で地域としての案をまとめ、5日の答申としたい。

(委員)

具体的なことを全ては書けないということは分かっている。ただ文面として、みなさんにどれだけ理解していただけるかが大切だと思う。

(会長)

5項目に追加した についてはいかがでしょうか。

(委員)

過日、事務局から資料として配布された各区の地域づくり委員会の要望は、ほとんどが道路整備と河川改修であった。長野県の場合は、前知事の関係で公共事業があまりできなかったのが、に盛り込まれた国道144号線の問題を最重要課題として実行していただきたい。

(会長)

項目の順番なんかはどうしたらよいのですか。

(事務局)

順番についてもご意見いただき、必要であれば並べ替えを行います。

(会長)

他にご意見がなければ、お帰りになってからよく読んでいただき22日までに事務局に連絡してください。

5. その他

(事務局)

前回お決めいただいたとおり、第5回の協議会は1月30日(火)の午後7時からこの会場で開催します。諮問に対する答申が2月5日ということで、非常にタイトなスケジュールとなっております。作成についてご協力をお願いします。

(会長)

地域協議会の連絡協議会が1月18日に開催されます。各地域協議会の進行状況を発表することになっておりますので次回協議会で他の地域の状況もお知らせできると思います。

6. 閉会 (佐藤副会長)